

早産されたことのある妊婦さんに対する 黄体ホルモン（プロゲステロン）療法について

以前の妊娠で早産されたことのある妊婦さん（早産既往妊婦）は、次回の妊娠でも早産のリスクがあります。

以前の妊娠で早産されたことのある妊婦さんに対し、次回妊娠時に黄体ホルモン（プロゲステロン）を投与することで、早産率が低下することが知られています。しかし、海外で推奨されている黄体ホルモン療法は、その投与量が日本の保険適応外の用量のため、保険診療では投与することができません。

そこで、市立豊中病院産婦人科では、当院の倫理委員会の承認を得て、2016年6月より保険適応外診療として、早産既往妊婦に対する早産予防としての黄体ホルモン療法を開始しました。

以前の妊娠で早産された妊婦さんは、妊娠初期より当院を受診していただき、黄体ホルモン療法について当院産婦人科医師にご相談ください。くわしくご説明させていただきます。

市立豊中病院 産婦人科外来